
40人41脚

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

40人41脚

【Nコード】

N6788F

【作者名】

悲劇のM

【あらすじ】

あんな感動的な番組を観て本作のような邪な妄想を思い描く輩は筆者以外にいますでしょうか

負けた。

人気の無い幕張メッセの簡易通路。そのベンチで、一人の小学生が俯いていた。長い前髪で表情はよく見えないが、小さな肩が震えていた。

40人41脚。横一列に並んだクラス40人のチームが二人三脚の要領で足を紐で結び、50メートル走のタイムを競う。

そのの全国大会に向け、朝から晩までの夏休み練習や、放課後・休み時間を返上しての練習。清水市立入江小六年二組のそれらの努力が、全て自分のせいで無駄になった。

決勝、三十メートル地点で、自分と皆との歩調が一瞬だけズレてしまった。そして、そこから大規模な転倒が生じた。

せっかく、決勝まで進んだのに。八秒台という最高記録を誇っていたのに。自分のせいで、全てが無駄になった。

彼を責める者は、誰一人といなかった。しかし、みんなの涙は、まるで鋭い針のように彼の心に突き刺さった。

俯く彼の頬を、一筋の涙が伝った。泣けば済む問題でないことは、彼自身よく分かっている。それでも、涙は止めようがなかった。

「どうしたんだよ、大野」

彼の名を呼ぶ声に、慌てて涙を拭って振り返る。そこには、クラス委員長であると同時に30人31脚のチームキャプテンの杉山が立っていた。

茶色がかった短髪に、整った目鼻立ち。精悍な瞳は黒く輝いていた。準優勝に終わり、みんなが悔し涙を流す中、彼だけは泣くことはなかった。

彼は無言で、大野の隣に座った。

「負けちまったな」

優しく声をかけ、肩をぼんと叩く。伝わってくる震えが痛々しく、

そして、どこか生々しかった。

「ごめんね杉山君、僕のせいだつ……！」

再び泣き出す大野。悔し涙ではなく、責任を感じての涙だった。

「バカ、気にすんな。みんな頑張ってたろ」

「けど、みんなの努力を無駄にして……みんなに何て言ったらいいんだ」

「泣くな、もう終わったろ。それに、誰もお前のせいだなんて思っちゃいない」

「違うつ。みんな僕を責めるんだ！ きつと僕は」

大野の言葉は、杉山の唇と自分のそれが触れ合うことで遮られた。

「っ！」

突然の出来事に大野は何もすることが出来ず、ただその身を委ねることしか出来なかった。自分の身体がどんどん熱くなるのがわかる。

薄い唇を通して、杉山の温もりが身体中に伝わる。それは、唾液によるものだけではなかった。

暫くそうしていた後、ゆっくりと唇を離す杉山。すっかり赤くなっている大野の顔を見据えると、精一杯の優しさを込めて言った。

「仮にみんながお前のことを責めても、俺はお前のことを責めたりしない。だから、もう泣くな」

目元に残る涙を、きれいな細い指で拭った。

「杉山、君」

せつかく拭われたにも関わらず、大野の両目からまた涙が流れる。

弱い彼は、精一杯杉山に抱きついた。

「大野……」

すると、大野はゆっくりと言った。

「さっきの、もっかいして……」

恍惚の表情を浮かべる大野に、杉山は苦笑する。だが彼は、大野の求めに応じた。

「甘えん坊さんだな」

もう一度、唇が重ねられた。

杉山は強引に内部で舌を絡ませる。甘い唾液が混ざり合い、くちゆくちゆと音を立てる。二人の友情が、何か違うものへと変わっていく瞬間だった。

暫くそうしていた二人は、クラスの送迎バスに間に合うように手早く簡易通路を出た。そして送迎バスの中、二人は最後列の二人座席に相席した。

杉山の耳元で、大野は囁いた。

「杉山君、大好きだよ」

(後書き)

シヨタツ子のBL最高です (^p^)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6788f/>

40人41脚

2011年1月21日01時01分発行